



HP「辻よし子と歩む会」で検索



「辻よし子と歩む会」

☎ 190-0154

あきる野市高尾 182-1 佐橋方

電話 & FAX : 042-596-4569

e-mail : kusasigi@nifty.com

共同代表 : 柏倉倫子・岩田純子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず、コツコツと手作りの政治を！

新人議員 辻よし子、がんばってます

10月4日の補欠選挙で、1万を超す市民の方々の支持を得て当選した辻よし子は、早速、新人議員として活動を開始。本会議を始め、さまざまな場面で積極的に発言し、議会改革に取り組んでいます。

10月30日 臨時議会 「教育長人事」で初質問。一歩前進

戦前の反省から、戦後の教育は、政治に左右されないことを大切にしてきました。ところが安倍政権は、これまで教育委員会が選んでいた教育長を、首長（知事や市長など）の任命とし、教育委員会の長に据えました。今までよりも、教育の場に政治の圧力がかかる心配があります。

そこで、辻よし子は「そういう重要な教育長を決めるのに、候補者の略歴などしか説明せずに議会の同意を求めるのはおかしい。候補者が所信表明するか、教育についての考えを文書で示した上で議会に提案するべきではないか」と追及しました。市長から納得のいく回答はありませんでしたが、議長が「今後、議会としても検討したい」と発言。一歩前進したと思います。

11月26日 本会議 議員の期末手当アップに反対討論

都の人事委員会勧告に準じて、議員の期末手当（ボーナス）をアップする条例案が審議されました。

そもそも、非常勤の公務員である議員にボーナスが出ることに疑問もあります。また、経済格差が広がり、貧困層が増えている現状や、多額の負債（借金）をかかえるあきる野市の財政を考えれば、わずか0.1か月分とはいえ、議員の手当を上げることが良いとは思えません。

こうした点を、辻よし子や共産党の議員が質問、反対しましたが、納得できる回答もなく、賛成多数で可決、成立してしまいました。



12月1日 本会議（一般質問） 小さな声を市政につなげた質問

一般質問では、3つのことを取り上げ、市政の状況や今後の取り組みについて質しました。



(1) 原発事故避難者に対する支援について
国の支援が不十分な中、あきる野市ではどうなのかという視点から、市内に避難している方々の現状をどう把握し、どう支援していくのか。

(2) 性的少数者への理解を深める施策について
性的少数者への理解は少しずつ広がっているものの、市として十分な対応がされているとは思えない。市役所や学校での現状、今後の取り組みは？

(3) 砂防工事と生物多様性保全について
「生物多様性あきる野戦略」は、先進的なものだが、砂防工事世界的に希少な鳥の営巣地がこわされてしまった問題をどう考え、今後、どのように生物多様性保全に配慮した工事をしていくのか。

このような小さくても大切な声を市政に届ける質問に、市側の回答は、必ずしも積極的とは言えませんでした。今後につながる手がかりはつかめ、(1)や(3)については、実際に動きが始まりました。

12月17日 本会議 「マイナンバー」制度の問題点を指摘

「マイナンバー」制度の施行に合わせて整備される条例案について、「便利さだけが宣伝されているが、問題点がきちんと説明されていない」と反対討論をしました。

* 無党派の辻よし子の積極的な活動で、議会に変化が見えます。これに加えて、市民一人ひとりが声をあげて、つながっていくことで、もっと風通しのよい市政にしていきたいと思います。まず、市議会を傍聴することをおすすめします（市のHPからも観られます）。

* 2月1日、「辻よし子の市議会レポート」を新聞に折り込みました。ぜひ、お読みください。また、連絡を下さればお届けします。

命、憲法を大切にしない 安倍政治に NO！ を



安保法制（戦争法）の強行採決をはじめ、安倍政権はさまざまな場面で憲法を無視し、5兆円を超す「防衛」予算を組むなど、軍事大国への道突き進んでいます。

また、福島原発事故から5年もたつ今でも、収束どころか汚染水は漏れ続け、行き場のない汚染ゴミは増える一方です。故郷に帰れず、不安な日々を過ごしている人たちがいる状況も考えず、原発を再稼働させ、外国への原発輸出も進めています。それは、武器輸出の拡大と同様、大企業をもうけさせるためには、命の危険にさらされる人たちがいることなど、気にもしないという証拠ではないでしょうか。

人々の命や憲法を粗末に扱う安倍政権の暴走を止めましょう！ そのためには、選挙で私たちの意思を示すと共に、一人ひとりの市民が、自分のできるやり方で、声を上げていくことが大事だと思います。

毎月3日の午後1時から全国各地で、さまざまな人たちが「アベ政治を許さない」のプラカードを掲げ、声を上げています。私たちもあきる野東急前などで、声を上げています。よろしかったらご参加を！

沖縄にも、横田にも 基地はいりません！

1月24日、沖縄の宜野湾市長選挙で、自公が推す現職市長が当選しました。



過去には、死者を出す事故を含め、何度も事故が繰り返され、世界一危険だと言われる普天間基地が市の中央を占領している宜野湾市。毎日、命の危険にさらされているはずですが、それでも4割以上の方が、辺野古新基地と引き換えの基地撤去ではダメと主張する候補者に投票したのです。それに、安倍政権はこの選挙で新基地問題には触れず、経済振興ばかりを言いつづけました。自公が推す候補が勝ったからと言って、辺野古新基地建設を沖縄県民が認めたことにはなりません（出口調査では建設反対が56%）。そのことをしっかり受け止めてほしいと思います。

一方、横田基地では、日米合意を無視した深夜・低空飛行訓練が拡大。あきる野市上空でも轟音とともに米軍機が飛び回り、事故の危険性も増えています。市や市民の抗議に耳を貸さず、勝手に“オスプレイ”が飛来し、先日は多数のステルス戦闘機も飛来しました。横田基地はどんどん強化されています。基地は、事故や騒音もさることながら、いざ戦争となれば真っ先に攻撃されます。沖縄の人たちは、それを身をもって知っているからこそ、あれだけ強く反対しているのです。私たちも沖縄のことを他人事とせず、横田基地とつなげて考えたいものです。



ヘイトスピーチについての陳情不採択問題で 正副議長と話し合いました

「歩む会」通信14号でお知らせした通り、「くさしぎ・草の根市議と市政を考える会」が出したヘイトスピーチに対する法整備を求める陳情は、今年の6月議会で不採択になりました。審議のあり方に納得がいかなかった私たちは、議会に質問状を出し、それに対する回答をもとに、11月、正副議長と話し合いました。

その結果、議長から「陳情の中身ではなく、陳情者の言動などを取り上げて不採択にするのはよくない。今後はそのようなことにならないようにする」との回答が得られました。

また、6月の総務委員会では、陳情を不採択にする一方、議員提案として、ヘイトスピーチに対する法整備を求める意見書を出すことになっていました。ただ、その後、委員のメンバーに変更があったため、改めて専門家の話を聞くなどして、まだ結果が出ていません。

ヘイトデモは、ひと頃より下火になったとはいえ、人種・民族差別の言動は、相変わらず横行しています。それなのに、国会に提出された法案の審議は、まるで進んでいません。このような状況をなんとかするためにも、少しでも早く、意見書が提出されるよう期待しています。

辻よし子・プロフィール



1960年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2013年、市議選に立候補、惜しくも次点。昨年10月の補欠選挙で市議に当選。現在、夫、息子らと草花に暮らす。

「辻よし子と歩む会」
会員募集中！
年会費：1,000円（カンパ歓迎！）
郵便振替
加入者名 辻よし子と歩む会
口座番号 00140-9-430053
ゆうちょ銀行（店番）〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）
当座 0430053



HPをご覧ください！